

## 吹田市立図書館窓口等業務委託事業者選定に係る評価項目と審査基準

### 1 審査基準

次に示す観点から、総合的に公平かつ客観的な審査を行うものとする。

- (1) 委託業務に係る企画提案並びに業務計画書の内容が、市民へのサービス向上に資すると認められること。
- (2) 委託業務に係る企画提案並びに業務計画書の内容が、業務委託仕様書の内容を的確に反映していると認められること。
- (3) 委託業務の遂行に係る収支予算の内容が、最小の経費で最大の効果をあげられるものと認められること。
- (4) 運営体制及び人員配置が円滑かつ確実な業務遂行を行えるものであると認められること。事業者としての経営能力が次に掲げる状況にあり、安定的に業務遂行が行えると認められること。
  - ア 安定的かつ健全な財務能力を有していること。
  - イ 事業実績が豊富であること。
  - ウ 優れた物的能力及び人的能力を有していること。

### 2 評価方法

- (1) 表1に示す各項目において、選定委員が採点を行い、全委員の合計点（各委員の採点をすべて合計したもの）が高い順に順位をつけ、1位とされた者を最優秀提案事業者（第一位候補者）、次いで評価点の合計点が高い者を次点者事業者（第二位候補者）として選定する。
- (2) 最低基準点に満たない事業者については、選定しない。
- (3) 最低基準点は、価格点を除いた評価点の合計点の6割とする。
- (4) 参加事業者が1者であった場合も提案審査を行い、その得点が最低基準点を上回ればその事業者を第一位候補者とする。
- (5) 各項目における評価点は、第3項に定める方法により算定した点数の合計とする。算定の中で小数点第3位以下は切り捨てとする。

### 3 評価点の決定方法

各項目の取得ポイントに基づいて、評価点を与えるものとする。

表1 評価項目及び評価係数

区分	評価項目		算定区分	評価ウェイト			
業務経歴	受託実績	規模・内容	①	3.0	3.0	10.0	
職員体制	責任者	経験年数	②	2.0	7.0		
	副責任者	経験年数	③	2.0			
	資格	司書率	④	3.0			
業務実施方針	テーマ1	企業姿勢	⑤	10.0	30.0	60.0	
	テーマ2	業務への理解度		20.0			
業務実施手法	テーマ3	業務の計画性	⑥	20.0	30.0		
	テーマ4	業務の確実性・実現性		10.0			
質疑	応答能力	応答性・専門能力	⑦	5.0	5.0		
	取組姿勢	業務への取組意欲		5.0	5.0		
価格評価	見積書金額からの配点		⑧	20.0	20.0		20.0
計					100.0		100.0

#### 4 各項目におけるポイントの算定方法

表1の算定区分毎に、次の方法によりポイントを算定するものとする。

##### ① 業務受託実績の規模・内容評価

様式3「図書館業務受託実績調書」の実績のうち、下表2に示す規模・内容に下表3に示す乗率を乗じたものを取得ポイントとする。複数の実績がある場合は、内、もっとも算定ポイントが高くなる実績を採用する。

表2 規模・内容評価によるポイント一覧

規模・内容	ポイント
年間貸出冊数 30 万冊以上	3
年間貸出冊数 30 万冊未満、 かつ蔵書 20 万冊以上	2
年間貸出冊数 30 万冊未満、 かつ蔵書 20 万冊未満	1

表3 受託施設種別乗率一覧

施設種別	乗率
公共図書館	1.0
公共以外の図書館	0.6

\* 公共図書館…都道府県立、市町村立図書館とする。

\* 公共以外の図書館…国立図書館、大学図書館、学校図書館、専門図書館などとする。

【例】

蔵書冊数 10 万冊の大学図書館の場合。

「規模・内容評価によるポイント:1点」×「受託施設種別乗率:0.6」=0.6 点

② 責任者

様式 4 「業務従事者調書」のうち、配置予定責任者の図書館等での業務経験年数に、責任者としての勤務経験を加味した評価。

表 4 に示す経験年数に下表 5 に示す乗率を乗じたものを取得ポイントとする。

表4 経験年数によるポイント一覧

経験年数	ポイント
7年以上	2
7年未満	1

表5 責任者としての経験年数別乗率一覧

規模・内容	乗率
5年以上	1.0
5年未満	0.8

【例】

司書としての経験年数9年、責任者としての経験年数3年の場合。

「経験年数によるポイント:2点」×「経験年数別乗率:0.8」=1.6 点

③ 副責任者

様式 4 「業務従事者調書」のうち、配置予定副責任者の図書館等での業務経験年数に、責任者としての勤務経験を加味した評価。

表 6 に示す経験年数に下表 7 に示す乗率を乗じたものを取得ポイントとする。

表6 経験年数によるポイント一覧

経験年数	ポイント
5年以上	2
5年未満	1

表7 副責任者としての経験年数別乗率一覧

(配置予定者に、責任者としての業務経験がある場合はその年数も含む)

規模・内容	乗率
3年以上	1.0
3年未満	0.8

【例】

司書としての経験年数5年、副責任者としての経験年数2年、責任者としての経験年数1年の場合。

「経験年数によるポイント:2点」×「経験年数別乗率(2年+1年):1.0」=2.0 点

④ 司書率

様式4「業務従事者調書」により、下表8に示す業務従事予定者数の内の司書率(司書・司書補を併せた割合)に下表9に示す正規職員率の乗率を乗じたものを取得ポイントとする。

表8 司書率によるポイント一覧

司書率	ポイント
60%以上	3
40%以上～60%未満	2
40%未満	1

表9 正規職員率乗率一覧

正規職員率	乗率
50%以上	1.0
50%未満	0.6

【例】

司書・司書補を併せた司書率が業務従事予定者数の内60%。正規職員数が、全体の50%の場合。

「司書率によるポイント:3点」×「正規職員率:1.0」=3.0点

⑤ 業務実施方針

提案書及び提案書に対する質疑の結果により、表10に示す基準に基づいて、以下の観点で選定委員会委員が個別に絶対評価したポイントの合計を取得ポイントとする。

テーマ1…企業の健全性、事業継続性、公共図書館の役割への理解度。

個人情報保護の保護、綱紀保持、危機管理体制の具体性。

テーマ2…業務の効率化、省力化、迅速化につながる提案の具体性。

事業計画、利用者への対応やサービスレベルの向上策の具体性。

業務委託仕様書への理解度。

表10 業務実施方針に係るポイント一覧

業務実施方針の評価	ポイント	乗率
非常に良い	5	1.0
良い	4	0.8
普通	3	0.6
やや悪い	2	0.4
悪い	1	0.2

⑥ 業務実施手法

提案書及び提案書に対する質疑の結果により、表11に示す基準に基づいて、以

下の観点で選定委員会委員が個別に絶対評価したポイントの合計を取得ポイントとする。

テーマ3…人員体制、業務管理、労務管理体制の具体性。

テーマ4…引継ぎにあたっての事業スケジュールの実現性。

表11 業務実施手法に係るポイント一覧

業務実施方針の評価	ポイント	乗率
非常に良い	5	1.0
良い	4	0.8
普通	3	0.6
やや悪い	2	0.4
悪い	1	0.2

⑦ 質疑

質疑の応答に対して、表12に示す基準に基づいて、以下の観点で選定委員会委員が個別に絶対評価したポイントの合計を取得ポイントとする。

- ・専門的知識をもって応答しているか
- ・図書館関係者以外の者にも理解できる言葉で応答しているか。

表12 質疑に係るポイント一覧

業務実施方針の評価	ポイント	乗率
非常に良い	5	1.0
良い	4	0.8
普通	3	0.6
やや悪い	2	0.4
悪い	1	0.2

⑧ 見積書金額に対する評価

様式7「見積書」金額の1年当りの金額(年額・税抜き)に対して次の評価を行う。

価格評価の点数 = 配点 × (A - 年額) / 500万円

※Aは公募要項「4 委託料(年額)」に記載された金額の税抜き価格。

※点数の上限は20点とする。